

西伊豆健育会病院 看護師 2階病棟 入江沙希、3階病棟 大重彩花

- 功 績** 当院のモットー(理念)である「24時間救急患者さんを受け入れる」ことと、コロナ病床の運営を両立させるために、積極的に外来夜間当直およびコロナ病床の業務に取り組んだ功績。
- 推 薦 者** 院長 仲田 和正
- 推 薦 理 由** 常に知識をアップデートし、患者さんに寄り添う看護にとどまらず、患者さんを救いたいという使命感の下、日々の業務に加えて外来当直、コロナ病床の日勤、夜勤をこなす入江と大重を若手看護師の模範としたく理事長賞に推薦申し上げます。

内 容

当院には健育会グループの奨学金制度を利用し、看護学校を卒業した看護師が毎年入職してきます。地元出身の看護師だけでは人数が足りず、奨学生に支えられていると言っても過言ではありません。奨学生の中でも今年5年目となる2階病棟の入江と3階病棟の大重は非常に優秀で今では指導者として若手看護師の中心的存在です。

昨年、8月にコロナ病床を2床設置しました。24時間の救急受け入れも継続しており、コロナ病床入院患者と救急患者の対応の両立はとても大変です。今年2月にはクラスターが発生し、先の見えない不安な毎日が続きましたが、地域の皆さんを始めとして多くの激励のお言葉を頂戴し、職員一丸となって乗り越えることができました。この時にも入江と大重の若い力が大きかったように感じています。2人は通常業務をこなしながら、率先して夜間当直とコロナ病床の日勤、夜勤にも入ってくれています。夜間当直は医師と2人で患者対応をしなければなりません。更にコロナ病床は感染対策との闘いになります。どちらにせよ気の抜けない看護業務となりますが、決して弱音を口にすることなく頑張っている入江と大重を見ると胸が熱くなります。私は「西伊豆マインド」として勉強する文化を根付かせてきました。入江も大重も共に勤勉であり、机上の空論とならないように常に努力し実践する姿を見ると、西伊豆マインドが継承されていることを実感し非常に嬉しく思います。

現在、第7派の到来と言われ、当地域の感染者数も増え、コロナ病床の入院も続いています。入江と大重は急性期病棟と地域包括ケア病棟を互いに経験しており、オールラウンダーとして病院の円滑な運営のために欠かせない存在です。引き続き2人の今後の活躍を期待すると共に、私達も奨学生に長く勤務を願えるよう、魅力ある病院となる努力をしていきたいと思っております。